



林業福島

No. **630**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤卓夫



2

2017

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 田村 スギの故郷



植樹祭の原点に戻る大会

福島県市長会会長
相馬市長 立谷 秀清

『林業福島』をご覧の皆様におかれましては、県内それぞれの自治体の行政運営にご理解とご協力を賜っておりますことに県市長会を代表して御礼を申し上げます。また、東京電力福島第一原子力発電所の事故によって発生した放射性物質への対応という、これまで経験したことのない課題に取り組みながら、森林の育成、管理に日々努力を重ねられておりますことに、心から敬意を表します。

さて、昨年十一月、全国市長会で福島第一原子力発電所を視察いたしました。参加した市長達は現地を見て一様に「ここまで作業が進んでいるものとは思っていなかった。見ると聞くとは大違い。まさに百聞は一見に如かず。」と述べていました。現地に足を運んで、実際に見て、その実情を正しく理解してもらおうことの重要性を改めて考えさせられました。

今、県内では平成三〇年に南相馬市で開催される「第六九回全国植樹祭ふくしま2018」の準備が進められています。昨年二月には、県内で第六九回全国植樹祭開催記念「もり」がたりシンポジウムが福島市といわき市で開催され、その基調講演で太田猛彦東京大学名誉教授は、「廃地に木を植えることは植樹祭の原点。南相馬市の海岸防災林で植樹祭を開催することは、森林の大切さ、特に防災・国土保全機能の大切さについて改めて理解を深めるという重要な意味がある。」と訴えておられました。

「第六九回全国植樹祭ふくしま2018」は東日本大震災で大きな津波被害を受けた地域では初めての開催であり、太田先生のご指摘のとおり、植樹祭の原点に戻る大会、そして森林の大切さを改めて考える貴重な機会となるものと思っています。

加えて、福島県の被災状況や復興状況を多くの方に直接見て、正しく理解し、多くを考えていただける絶好のチャンスであると考えております。皆さまが活躍される林業をはじめ、農林水産業や観光産業における風評被害の払拭、さらにそれぞれの地域の地方創生につなげるべく、福島県市長会といえども福島県や関係機関と協力しながら取り組んでまいりたいと考えております。

震災発生から間もなく六年目を迎えます。市長会では十三名の市長が、皆で知恵を出し合い、連携を深めながら、ふるさとの復興と創生に向け努力を重ねてまいりますので、これからもご理解とご協力をお願いいたします。

《も く じ》

| | | |
|-----------------------|-----------------------------------|----|
| とびら | 第四七回全国林業後継者大会福島県実行委員会を設立しました…………… | 6 |
| 植樹祭の原点に戻る大会 | 国見町庁舎について…………… | 7 |
| 福島県市長会会長 | 普及指導員通信…………… | 8 |
| 相馬市長 立谷 秀清…………… | ◆ 林業労働力確保支援センターだより …… | 9 |
| 第1回福島県きのこ料理コンクール…………… | 木連だより…………… | 10 |
| 林業研究センターだより…………… | 「自然に親しむ」…………… | 11 |
| 山火事を防止しましょう | 木材市況・ふくしま東西南北…………… | 12 |
| ～火の用心 森から聞こえる ありがとう～… | はなしのひろば・お知らせコーナー…………… | 13 |

第一回福島県きのご料理コンクール

(公社)福島県森林・林業・緑化協会
きのご振興センター

第一回福島県きのご料理コンクールを平成二十八年十二月十七日に郡山市安積総合学習センターで開催しました。このコンクールは、食用きのこについての正しい知識とその利活用の普及啓発により県民の健康増進に寄与するとともに、きのご産業の振興を図ることを目指して新たに開催したものです。きのご料理コンクールとしては、県内では十数年ぶりの開催となりました。



表彰式後の記念撮影



調理会場

○一次審査

十一月二一日に一次審査を実施しました。応募総数は一一〇点(うち高校生八三点)の作品が寄せられ、どの作品も出品者のこだわりやアイデアに富むものでした。この中から本審査に出場する作品七点を選出しました。

○本審査

十二月十七日に郡山市安積学習センターにおいて本審査を開催しました。本審査は、調理の実技を伴う審査で、味覚や独創性などについて審

査基準に基づき厳正な審査が行われました。審査の結果、最優秀賞をはじめ各賞の受賞者が決定され、各受賞者には、賞状と副賞が贈呈されました。

○きのご料理コンクールの全国大会
きのご料理コンクールには、日本特用林産振興会が主催するきのご料理コンクール全国大会があります。平成二十八年度は、三月十四日に東京都内で開催され、今回、最優秀賞を受賞した伊藤紫音さんを全国大会の出場者として推薦することとしました。

○おわりに

今回は、多くの高校生からの応募

があり、発想のおもしろい作品も多数ありました。また、どの応募作品からも皆様の真剣さと料理に対する楽しさが感じられました。

次年度におきましても当コンクールを開催することとしております。多くの方々に参加していただけますよう準備を進めてまいりますので、ぜひご応募ください。

受賞作品 最優秀賞



第1回福島県きのご料理コンクール入賞者

| 賞 | 作品名 | 氏名 | 住所 |
|------|-----------------|-------|----------|
| 最優秀賞 | 福島きのごバーグの野菜あんかけ | 伊藤 紫音 | 郡山市：高校生 |
| 優秀賞 | きのごクリームパンプキン | 伊藤 和子 | 福島市 |
| 〃 | マシュレーゼ | 深堀 舞 | 郡山市：高校生 |
| 特別賞 | とろーりキノコ餃子 | 静井さとみ | 福島市 |
| 奨励賞 | ミルフィーユあんかけ | 渡邊 由佳 | いわき市：高校生 |
| 〃 | 秋にぴったりポケットサンド | 松田 遥 | 福島市：高校生 |
| 〃 | エリンギポテト | 坂本 美咲 | 郡山市：高校生 |

林業研究センターだより

「オープンラボラトリーのご紹介」



木材試験棟・加工棟全景

福島県林業研究センター

林産資源部 主任研究員

村上 香

I オープンラボラトリーとは

福島県林業研究センターでは、木材試験研究施設に性能測定機器類、加工機器等を設置し、平成十二年度から「オープンラボラトリー」を実施しています。「オープンラボラトリー」とは、林業・木材関連の製品開発や品質向上への取り組みを支援するため、関連業界及び一般の方々に対象機器を開放し、また依頼

試験にも対応する制度です。

II オープンラボラトリーの内容

オープンラボラトリーには「機器使用」と「依頼試験」の二つがあります。

「機器使用」は、使用料を納付していただくことで、申請される方が機器を使用して測定や加工を行うことができる制度です。現在、利用できる機器は実大強度試験機、

熱ロールプレスなど四七種類となっています。

「依頼試験」は、手数料を納付していただくことで、当センターの研究員に試験を依頼し、試験成績書の交付を受けることができる制度です。現在、実大曲げ試験、全乾法による含水率測定など十種類の試験が実施できます。

III 使用できる主な機器と依頼試験について

近年、機器使用では、実大強度試験機、耐力壁面内せん断試験機、熱ロールプレスの利用が多く、依頼試験では実大材曲げ試験、全乾法による含水率の利用が多くなっています。

なお、平成二三年に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行されたこともあり、公共施設などを含む大規模建築物への地域材の利用が進められています。また、木材製品に要求される品質・性能が高度化していることから、木材関連企業のJAS認定取得などへの取り組みも積極的に行われています。このような背景から、当セン

ターでも関連した内容のご利用が多くなっています。

以下に、使用できる主な機器類および依頼試験の概要についてご紹介します。

1 機器使用

(1) 実大強度試験機

実大製材品の圧縮、曲げ、引張強度性能を測定する機器です。JAS認定企業の定期的な品質管理や開発した製品の曲げ強度・引張強度性能確認などのためにご利用いただけます。



実大曲げ強度試験実施状況

(2) 耐力壁面内せん断試験機

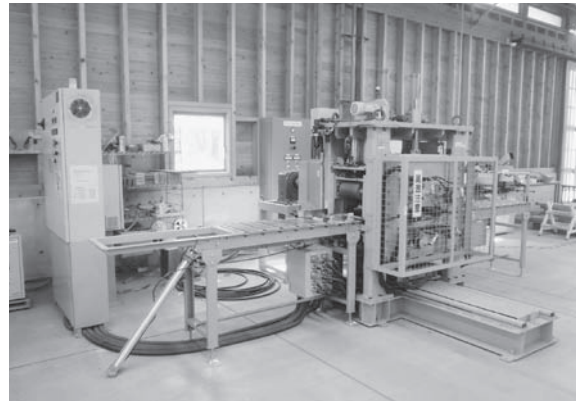
耐力壁の水平方向のせん断強度性能を測定する機器です。耐力壁の壁倍率測定や開発した製品の接合部強度性能確認などのためにご利用いただけます。



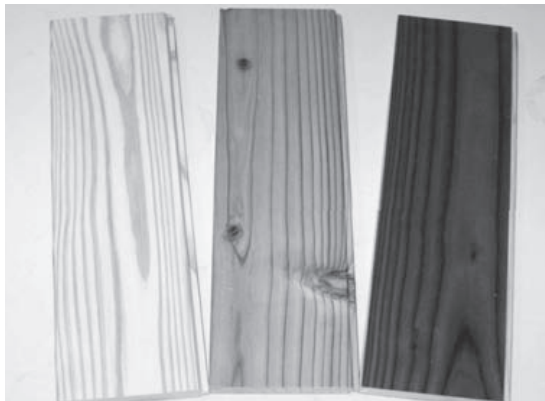
耐力壁面内せん断試験実施状況

(3) 熱ロールプレス

加熱したロール間に木材を通して木材を圧縮加工する機械です。木材の表面を硬化させることにより、キズつきにくくすることができると、スギ床材の加工などにご利用いただけます。



熱ロールプレス



熱ロールプレスの加工例

(4) 木材万能試験機

小試験体による各種材料試験を行い、木材の物理的性能を測定する機器です。ビスや釘などを用いた接合部のせん断試験などにご利用いただけます。

(5) グレーディングマシン

集成材ラミナや板材等の曲げヤング率を測定し、強度等級区分する機器です。非破壊により曲げヤング率を測定することができるため、実際に使用するラミナや板材の強度確認にご利用いただけます。

2 依頼試験

(1) 全乾法による強度測定

人工乾燥処理構造用製材のJAS認定を取得するためにご利用いただけます。

(2) 実大材曲げ試験

機械等級区分構造用製材のJAS認定を取得するため、非破壊による曲げ強度試験としてご利用いただけます。

IV お申込みについて

利用を希望される場合は、利用したい内容及び日程について申請前にご連絡をお願いいたします。

(問い合わせ先)

〇二四一九四五―二一六二一

担当：村上、小川

内容確認後、申請書あるいは依頼書を提出していただきます。なお、使用料もしくは手数料につきましては、福島県収入証紙にて納付していただくこととなりますので、ご注意ください。

そのほか、詳しい内容については、当センターのHP

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37370a/rinkenc-top.html>

をご覧ください。

多数のご利用をお待ちしております。



山火事を防止しましょう

火の用心 森から聞こえる ありがとう

福島県森林保全課

○山火事の発生時期

冬から春先にかけては、雨が少なく空気が乾燥していることに加え季節風も強いことから、火災発生の危険が高まる時期となります。また、暖かくなる春は登山やハイキングなどで山に入る人や機会が増えるほか、農作業を始める時期とも重なり田畑や自宅の周辺などで火を使ったことにより発生したとされる山火事が多発する時期です。平成二八年において、本県では三月末から四月初めにかけて規模の大きい山火事が伊達市と南相馬市で発生しました。

○山火事の発生原因

全国で平成二七年に発生した山火事(林野火災)は一、一〇六件あり、その原因で最も多いのは「たき火」で二九三件、次に「火入れ」一七四件となっております。本県においても五五件の山火事が発生していま

す。^{※1}

このことは、多くの山火事の発生が人為的な不注意によるものであることを意味しており、注意をすれば多くの山火事を防ぐことができます。

○山火事を発生させた場合の責任

森林法において、他人の森林に放火をした者に対して、有期懲役の罰則規定があることに加え、失火による森林の延焼に対しても罰則規定があり、失火させてしまった方も責任を問われることがあります。

山火事を発生させてしまうことは大変重大なことであり、山火事を発生させないよう私たち一人ひとりが火の取り扱いに注意することを心がけましょう。

○山火事を発見したら

山火事の消火活動は、市街地の火災に比べ、道路、水利、地形などの条件から非常に困難であるため、自

力での消火は大変危険です。

山火事が発生した場合は、山火事を発見したときは、すぐに消防署等へ通報するようお願いいたします。

○山火事を発生させないために

山火事を発生させないためにも、私たち一人ひとりが次のことに注意をして、山火事予防に取り組みましょう。

- ① 枯れ草がある等火災が起りやすい場所では、たき火をしないこと。
- ② 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと。
- ③ やむを得ずたき火等火を使用する場合は、火気のそばを離れず、使用後は完全に消火すること。
- ④ 火入れを行う際、市町村長の許可を必ず受けるとともに、十分な実施体制をとること。
- ⑤ たばこは、指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消すととも

に、投げ捨てをしないこと。

⑥ 火遊びはしないこと。

○おわりに

山火事が発生してしまうと私たちの暮らしに欠かせない水源かん養や県土の保全など森林の持つ大切な役割を失ってしまうことになり、燃えてしまった森林がもとの姿に回復するまでには、何十年もの年月と多大な費用を要します。

ふくしまの豊かな森林から山火事を発生させないよう県民の皆さん一人ひとりの御協力をお願いします。

※1 H27消防白書より

森林保険

山火事などの災害に備え、森林保険に加入しましょう。くわしくは、最寄りの森林組合、または森林組合連合会へ御相談ください。



森林保険イメージキャラクター
マモルくん

第四七回全国林業後継者大会 福島県実行委員会を設立しました

福島県林業振興課

全国林業後継者大会は、本県において昭和四五年の第二一回全国植樹祭の前日に「全国林業後継者のつどい」として開催したのが始まりで、以降、全国植樹祭の関連行事として植樹祭前日の開催が恒例となつています。

平成三〇年の第六九回全国植樹祭の福島県開催が決定したことから、全国林業後継者大会の運営組織として第四七回全国林業後継者大会福島県実行委員会を平成二八年十二月二日に設立しました。

第一回実行委員会では、会則及び役員、開催地、大会概要、事業計画を決定しました。

実行委員会役員として、会長に福島県林研グループ連絡協議会会長の豊田新一氏、副会長に福島県指導林家連絡協議会会長の緑川平壽氏を選出しました。

開催地については、「いわき市」を会場とすることを決定し、開催目的や主催、後援予定、大会規模・内容などの開催概要(別表)を決定しました。

今後、四月の第二回実行委員会に向けて、基本計画(案)の作成や大会テーマの募集を進めて行く予定です。本県で再び開催する全国林業後継者大会が、森林所有者の皆様は元より、林業事業体で林業に従事する方や製材工場等木材利用部門の方の参加も得ながら、福島県の森林・林業・木材産業を担っていく皆様の大会にしたいと考え準備を進めてまいりますので、皆様の御協力、御参加をお願いいたします。



第45回大会(長野県)の開催状況

(別表) 第47回全国林業後継者大会 概要

| | | |
|---|--------|---|
| 1 | 開催目的 | 全国林業後継者大会先駆けの地である本県で再び大会を開催するにあたり、林業を担っていく人達が、諸先輩の森林・林業に携わってきた生き方を学びながら、現在の世代の先進的な取組、また次の世代の林業に対する思いを共有する世代間交流を行いながら、森林を育て木材を生産することはもちろん、地域づくりを担う林業後継者としての意見を交わし、先人が伝えてきた豊かな森林を次世代へ継承する決意を全国へ発信するとともに、東日本震災や福島第一原子力発電所事故からの復興・再生に対する全国からの支援への感謝の意を伝えます。 |
| 2 | 大会テーマ | 平成29年度の実行委員会で決定 |
| 3 | 開催日時 | 平成30年春(全国植樹祭前日) |
| 4 | 開催会場 | いわき市内施設 |
| 5 | 主催 | 福島県林研グループ連絡協議会、全国林業研究グループ連絡協議会 いわき市、福島県 |
| 6 | 大会運営 | 第47回全国林業後継者大会福島県実行委員会 |
| 7 | 後援(予定) | 林野庁、(一社)全国林業改良普及協会、(公社)大日本山林会 |
| 8 | 大会規模 | 400名程度(県外約200名、県内約200名) |
| 9 | 大会内容 | (1)オープニング (2)開会式典 (3)トークセッション (4)閉会式典 (5)交歓の夕べ |

第47回全国林業後継者大会福島県実行委員会

| 区分 | 所 属 |
|-----|-----------------------|
| 会 長 | 福島県林研グループ連絡協議会 会長 |
| 副会長 | 福島県指導林家連絡協議会 会長 |
| 委 員 | (公社)福島県森林・林業・緑化協会 会長 |
| 委 員 | 福島県森林組合連合会 代表理事会長 |
| 委 員 | 福島県木材協同組合連合会 会長 |
| 委 員 | 福島県農林種苗農業協同組合 代表理事組合長 |
| 監 事 | 福島県きのこ振興協議会 会長 |
| 委 員 | 福島県林業経営者協会 会長 |
| 委 員 | 福島県木材青壮年協会 会長 |
| 委 員 | 福島県素材生産協同組合 理事長 |
| 委 員 | いわき市農林水産部 部長 |
| 委 員 | いわき市森林組合 代表理事組合長 |
| 委 員 | 磐城林業協同組合 理事長 |
| 監 事 | NPO法人いわきの森に親しむ会 理事長 |
| 委 員 | 福島県農林水産部 次長(森林林業担当) |
| 委 員 | 福島県いわき農林事務所 所長 |

国見町庁舎について

国見町産業振興課 滝澤 瑞希

国見町庁舎は、東日本大震災で被災した数多くの市町村の庁舎再建第一号として、平成二十七年五月に開庁しました。

町では、昭和三〇年頃に造林した木が伐期を迎え、平成二三年に森林委員会において、地域材の活用や今後の森林整備について話し合いを進



国見町庁舎外観

めてきました。平成二十四年に森林整備計画を見直し、また同年に国見町公共建築物・公共土木工事等における地域材利用に係る基本方針を策定し、地域材を活用した町内公共施設の木質化を図ってきました。

庁舎の建築概要は、延床面積四、八二五平方メートルで、構造はS造（集材耐火被覆）、地上三階地下一階となっています。木材利用量は、二九〇立方メートルでその内地域材の利用が一四五立方メートルであり、工期の関係もあ



庁舎内観

り町産材は利用できませんでしたが、半分が県産材を活用しています。総事業費は、二四億六、八〇〇万円で国土交通省、木造建築技術先導事業補助金五、五〇〇万円を活用いたしました。

この庁舎の特徴は、鉄骨の躯体を地域材のカラマツで耐火被覆すること、鉄骨造の耐火建築物でありながら、木の架構に包まれた温かみのある空間を実現しました。また、議場は、不熱処理をした地域スギ材の横格子により木質化するとともに、家具には圧密加工した国見町産のスギ材を活用するなど、町民が親しみをもって使うことができる庁舎となっています。床材は、地域スギ材を圧密加工したフローリングを使用しています。

庁舎内は、木材を多く使用しているため、木の香りがよく感じられ、木のぬくもりや優しさを感じられる建物となっています。

大臣認定を受けたH型鋼の木質ハイブリッド鋼材内蔵型集成材を「柱」と「梁」に採用した建築は、公共建築物としては日本初の事例であり、その取組が認められ、「第九回木材活用コンクール」で最優秀賞（国土交通大臣賞）をはじめとして、平成二十七年全建賞（建築部門



議場

（東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠）、平成二八年度木材利用優良施設表彰（林野庁長官賞）、ウッドデザイン賞2015（ハートフルデザイン部門）、第二九回日経ニューオフィス賞、東北ニューオフィス奨励賞など、数多くの賞を受賞しています。

※柱と梁の断面構造

H型鋼等の鋼材に集成材の耐火被覆を行うことにより、火災時において集材部分に炭化層が形成され、断熱効果によって炭化進行を遅延させるとともに、鋼材の温度上昇を抑制する。（一時間耐火火国土交通大臣認定）

高校と連携した人材育成の取組 ～新規就業者の確保に向けて～

福島県県南農林事務所
林業普及指導員 笠原 航

県南農林事務所管内では、震災以降停滞した森林整備事業が本格化する中で、森林組合や林業事業体の恒常的な労働者不足が続くとともに、現場作業員の高齢化も進んでいるほか、大手製材工場でも人手の確保が難しい状況となっています。

このため、新規就業者を確保することを目的として、地元の高校生及び教職員に対し、就職先として「林業」を将来の選択肢の一つとして位置付けてもらうため、今年度、現場見学会を開催することとしました。

管内の実業高校である白河実業高校、修明高校、修明高校鮫川校、塙工業高校の4校を訪問し、就職担当の教職員に対して、現場見学会の目的を説明し協力を依頼するとともに、卒業生の就職先や生徒の意向などについての情報収集を行い、当初、林業についてはあまり知らない状況であった就職担当の先生方にも、就職先として林業関係があることを理解していただくことができました。

訪問活動の結果、白河実業高校（10月13日実施、42名参加）と修明高校鮫川校（12月16日実施、36名参加）の2校で現場見学会を実施することができました。

現場見学会では、川上の素材生産と川下の製材、チップ生産等の林業全体の仕事を理解してもらえるよう計画しました。素材生産現場では、チェーンソーでの伐採からプロセッサによる造材、フォワーダによる搬出までの一連の作業を、また、製材、チップ生産現場では、原木が運ばれてから柱やチップができるまでの工程を見学してもらいました。



高性能林業機械の見学



若手職員との交流

も触れてもらい、見学会で興味を持った生徒がインターンシップで林業の現場を希望し、ゆくゆくは就職先として考えてもらう機会になったと感じています。

今後も継続的に高校訪問、林業現場見学会を実施するとともに、林業事業体に対してもインターンシップ等の受け入れ体制づくりや求人活動の指導等に取り組みながら、若手の新規就業者の確保につなげたいと考えています。

さらに、現場で働いている若手職員から、「なぜ林業を就職先として選んだのか」「仕事でうれしかったこと」などの話をしてもらい、参加した生徒の興味を引き出す工夫も行いました。

生徒からは、「林業の仕事があること自体知らなかったが、興味を持つことができた」「木が倒れたときの迫力、音がその場でしか知ることができない体験だった」「男性が行う仕事だと思っていたが、女性でもできるのだなと思った」といった感想が聞かれました。中には「林業という職業も視野に入れて考えていきたい」とうれしい反応もありました。

今回の取組を通じて、高校生や教職員の感想から、なじみのなかった「林業」というものに少しで

林業労働力確保支援センターだより

林業就業者・基幹的な就業者の

定着促進、専門知識・技能向上へ

―各種研修会を開催しました―



森林作業道作設研修会

◎はじめに

福島県林業労働力確保支援センター（以下「支援センター」）では、林業の持続的かつ健全な発展のため、事業者の雇用管理改善や林業の担い手確保・育成等のための各種事業を行っています。

ここでは、今年度後半に取り組んだ研修について紹介します。

◎基幹林業労働者等研修事業

林業事業者等の現場責任者等への持続可能な林業経営に必要な知識と技術を付与する研修を実施しました。

○高性能林業機械実践研修会

平成二八年十月十九日から二二日の三日間の日程で郡山市及びいわき市の会場で開催しました。

参加者は、延べ七〇名でした。

初日は室内研修で高性能林業機械の概要や安全な作業への取組、日常



高性能林業機械実践研修
スイングヤーダ操作実習



高性能林業機械実践研修
メンテナンス実習



森林作業道作設中の研修生

のメンテナンスや新しい林業機械について講義を受けました。

二日目、三日目は実際に事業者の現場をお借りしてスイングヤーダ、プロセッサ、フォワーダを使って集材造材・はい積み作業を行いました。

さらに実機によるメンテナンス実習やフェラバンチャータウルスロボによる伐倒と作業道作設の様子を見学しました。

○森林作業道作設研修会（フォローアップ研修）

平成二八年十一月二十九日から十二月二日の四日間で石川郡石川町において研修を行いました。

研修生は七名でした。研修補助教材「急傾斜地やぜい弱地での森林作業道づくり」による講義や二班に分かれての実地研修では少人数ならではのきめ細かな指導を受けることができました。

◎林業就業者キャリア形成支援事業

林業就業者の定着を促進するための研修として「森林づくり研修会」を十二月十二日にビッグパレットふくしまで開催しました。

講師は林材ライターの赤堀楠雄氏で、参加者は二七名でした。



講師の赤堀楠雄氏

らんだむと一く
(取材メモから)

日本の木の文化
木材の流通と利用
ユニークな事業者
環境問題
林業と女性
林業について
(美林・篤林家・
フォレスタ・
恒続林)

今回は、数多くの取材を続けてこられた講師の様々な知識と経験を、表にあるテーマで沢山の資料を使ってお話しをいただきました。（詳細は支援センターだより二九号に掲載予定です。）

◎おわりに

福島県の森林・林業の復興再生には、林業就業者の育成・確保が重要だと考えています。今後ともこのための様々な取組を行いますのでご理解とご協力をお願いします。

木連だより

安全な県産材 供給体制の構築



流通・加工段階で木材の放射線量を検査、

ユーザーの不安払拭に努める

福島県の木材業界では、木材の伐採前から流通・加工の段階でも放射線量を測定することにより、安全な県産木材の供給体制づくりに取り組んでいます。

山元における検証

県木連では、福島県が平成二六年十二月に定めた「福島県民有林の伐採木の搬出に関する指針」を踏まえ、原子力規制庁が毎年公表している航空機モニタリングの線量データを活用してマップ作りに取組み、平成二七年分（九月十二日～十一月四日測定）では、県内森林の八八・九割が〇・五μSv/h以下の伐採可能な森林となっています。

丸太入荷時における検査体制

原木市場や大型製材工場に入荷する丸太の安全性を検証するため、丸太選木機用検知装置を国の補助事業である「安全な木材製品等生産技術検証・開発事業」の中で開発してきました。



選木機用検知装置

選木機用検知装置

丸太が原木市場等の選木機ラインを通過する過程において、左右に設置したプラスチックシンチレーション検知器により材表面の放射線量を検知する装置です。この装置は平成二七年度には福島県中央木材市場

（郡山市）、協和木材（塙町）に、平成二八年度には平木材市場（いわき市）、南東北木材（伊達市）にそれぞれ設置されたところです。このほか県内には丸太の選木機を設置している原木市場や製材工場がいくつかあることから平成二九年度以降順次設置することにされています。

製品の出荷前にも測定

製材工場等では出荷する製品の材面に付着した放射性物質から放出される放射線量c p m（カウント・パルミニッツ）を定期的にGM管式サーベイメータにより測定し、データを記録・保管しています。製材品を各製材工場で測定するにあたっては、県木連が平成二四年七月に業界の自主管理基準値として一〇〇〇c p mを定めました。一〇〇〇c p mは法律（放射線障害防止法）で規定されている放射線管理区域からの持ち出し制限値であり、震災後に欧州各国等が日本製品の輸入に関する基



GM管式サーベイメータによる測定

準値とされたことから、これを参考にしました。

各製材工場では製品生産量等それぞれの生産規模や出荷体制に応じて、毎日あるいは出荷時に製材品の表面線量を測定してきました。また一部製材工場では、製材品用全自動測定装置を加工ラインに設置し、出荷製品の全量検査体制をとっている工場もあります。



製材品用全自動測定装置による測定

また県では平成二三年十一月からほぼ三カ月おきに県産材製材品を出荷している県内すべての製材工場（約一四〇工場）に出向き、柱材等の製材品数本を抽出し、放射線量を測定しています。この測定データは各工場にとって貴重なものであり、ユーザーからの問い合わせ等に活用しています。

福島県の平成二六年度製材品の出荷量は、県の統計書によると約三三万立方メートルでそのうち半数を超える約一七万立方メートルが関東圏に出荷されていることから、本県木材業界では優良で安全な木材を提供し、多くのユーザーの不安を払拭することに努めていきたいと考えています。

「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 23 |

上平窪のシイノキ群

樹木医 鈴木俊行



る。生育地の旧利安寺跡地は小高い丘の上の、周りを畑に囲まれた静かな場所で、跡地は墓地になっており小さなお堂が建っている。また、墓地には江戸時代にこの地に農業用水路「磐城小川江筋」を開削した沢村勘兵衛公の墓もあり、地域の人々の大切な場所となっている。

このシイノキ群は、夏井川中流左岸の河岸段丘の南端に生育し、磐城氏の所領時代は、この辺り一帯は横山御林と称し、鬱蒼とした森林を形成していたと伝えられ、本樹群はその頃の残存木で当時を偲ばせるものである。

「上平窪のシイノキ群」は、いわき市上平窪字横山境内にある。生育地は、国道六号から国道三九九号（磐城街道）を川内村方面へ約四キロ北上した旧利安寺跡地で、墓地を囲むように巨樹が鬱蒼と茂っている

イ属のスタジイ(Castanopsis sieboldii)で、暖地性照葉樹林を代表する樹種のひとつである。スタジイの分布の中心は温帯から亜熱帯で、日本では福島県および新潟県北西・以南から与那国島まで、国外では韓国の済州

島に分布している。スタジイは温暖多湿な環境を好むため、福島県沿岸部（浜通り）は太平洋岸における本種の北限域で、「上平窪のシイノキ群」はその北限地に生育する巨樹群であることから、昭和二十八年十月一日に県の天然記念物に指定されている。スタジイは材が硬く、耐潮性が強く、丈夫であるため巨木になりやすい。木材は木炭やシイタケ栽培のホダ木になるほか、タンニンに富む樹皮を黄八丈の黒色部の染料に用いる。果実（ドングリ）は渋みが少なくアク抜きしないで生のまま食べられ、ドングリの季節に訪れた時は必ずいたたく私の好物のドングリの一つである。また、ドングリの帽子（殻斗）も他のドングリとは形が違って楽しい。

本シイノキ群は七本のスタジイの巨樹が生育していたが、生育環境の変化などにより現在は五本になってしまっている。群生地南側にはカヤの大木やシキミなどが生育していたが伐採され、イチヨウの雄株と雌株二本の大木が生育するのみである。このシイノキ群の最も太い樹体の形状寸法は、樹高一五・〇〇m、幹周七・七〇m、根元周九・五〇mの推定樹

齢五〇〇年といわれる巨樹で、地上約二・〇mから一本に分かれ伸長し、東側の主幹は大きく東側に傾斜しながら伸びている。枝張りには、東一・五〇m、西一・〇m、南一・〇m、北一・三・五〇mと均整のとれた樹冠となっているが、枝枯れや太枝の剪定等により枝伸長は制限されている。また、このシイノキ群のすべての樹体の主幹には約三〇年前にコンクリートによる腐朽開口部の覆冠治療が行われているが、現在はまだ腐朽や開口が目立つようになって来ている。

スタジイにとって天然分布の北限に近い地にこのようなスタジイの巨樹が群生しているのは貴重で、これから先も末長く保護保存していかなければならぬ。皆さんも、北限のスタジイ巨樹群の鬱蒼とした空間でパワーをいただき、巨樹が墓守をしてくれている姿に感動してみたいかがだろうか。



木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(11月15日現在)

(単位：㎡当り千円)

| 区分 | 形量 | | 材質 | 樹種 | 中通り地方 | | 会津地方 | | 浜通り地方 | | 県平均 | | |
|-------|-------|-------|-------|------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | 径(cm) | 長さ(m) | | | 当月 | 前月差 | 当月 | 前月差 | 当月 | 前月差 | 当月 | 前月差 | |
| 一般用材 | 小 | 5~9 | 4.00 | 並 | スギ | 9 (8~10) | 0 | (0~0) | | 9 (8~9) | △1 | 9 (8~10) | 0 |
| | | 10~14 | | | | 11 (11~11) | 0 | (0~0) | | 11 (11~12) | 0 | 11 (11~12) | 0 |
| | 中 | 14~22 | 3.00 | 並 | スギ | 13 (13~14) | 0 | 10 (10~10) | 0 | 13 (13~13) | 1 | 12 (10~14) | 0 |
| | | | | | ヒノキ | 14 (12~15) | 1 | (0~0) | | 15 (15~15) | 1 | 14 (12~15) | 1 |
| | | | 6.00 | スギ | 16 (16~17) | 0 | 10 (10~10) | 0 | 15 (13~16) | 1 | 15 (10~17) | 1 | |
| | | 並 | | ヒノキ | 28 (24~33) | 0 | (0~0) | | 19 (15~24) | 0 | 24 (15~33) | 0 | |
| | | 20~28 | | 3.65 | 並 | スギ | 12 (12~12) | 1 | 10 (10~10) | 0 | 12 (12~12) | 0 | 11 (10~12) |
| | | | 4.00 | 並 | 11 (10~12) | | 0 | 10 (10~10) | 0 | 11 (11~11) | 1 | 11 (10~12) | 1 |
| | 4.00 | | 並 | アカマツ | 9 (8~11) | △1 | (0~0) | | 9 (9~10) | 1 | 9 (8~11) | 0 | |
| | 外 | 30以上 | 10.00 | 並 | 米ツガ | (0~0) | | (0~0) | | 28 (28~28) | 0 | 28 (28~28) | 0 |
| | | | | 並 | 米マツ | 32 (32~32) | 0 | 31 (31~31) | 0 | 28 (27~28) | △1 | 30 (27~32) | 0 |
| | 材 | 28以下 | 4.00 | 並 | エゾマツ | (0~0) | | (0~0) | | 27 (26~28) | 0 | 27 (26~28) | 0 |
| 並 | | | | アカマツ | (0~0) | | (0~0) | | 33 (26~40) | 0 | 33 (26~40) | 0 | |
| 並 | | | | カラマツ | (0~0) | | (0~0) | | 25 (24~26) | 0 | 25 (24~26) | 0 | |
| パルプ用材 | | | 並 | マツ | 6 (6~6) | 0 | (0~0) | | 5 (5~5) | 0 | 6 (5~6) | 0 | |
| | | | 並 | 広葉樹 | 9 (9~9) | 0 | (0~0) | | 6 (6~6) | △1 | 8 (6~9) | 0 | |

十月の原木市場への入荷状況は、前月比二七割増（前年比七割減）の二四、〇六三立方メートルとなっている。販売量については、前月比二八割増（前年比七割減）の二四、〇七四立方メートルとなっている。十一月の価格については強含みとなっている。

| 区分 | 形量 | | 材質 | 樹種 | 会津共販 | | いわき | |
|------|-------|-------|----|------|------------|-----|-----------|-----|
| | 径(cm) | 長さ(m) | | | 当月 | 前月差 | 当月 | 前月差 |
| 一般用材 | 12以下 | 4.00 | 並 | カラマツ | 7 (6~8) | 0 | 7 (6~9) | 0 |
| | 13~14 | | 並 | カラマツ | 10 (9~12) | 0 | 8 (7~8) | 0 |
| | 16以上 | | 並 | カラマツ | 12 (10~14) | △1 | 10 (9~11) | 0 |

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。
 2. () 内は各地域の価格幅、() 外は各地域の平均価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

二本松の道の駅安達の上り線には和紙伝承館があります。二本松の上川崎と言う地区は千年以上の歴史を誇る手漉き和紙の産地だそうで、上川崎和紙で作られた工芸品等が販売されています。和紙単体でも「筋紙」

一つ目は、会津で見つけた「会津木綿柄折り紙」です。伝統ある会津木綿の風合いを再現したもので、優しい柄に加え、独特な触り心地も面白いです。裏面も、柄に合わせて配色がされており素敵です。

折紙紙に使用するのは、普通の折り紙が多いのですが、珍しい紙を見つけたら買ってしまう。今回は私が見つけた福島の紙を三つ紹介します。

私の趣味は「ユニット折り紙」です。「ユニット折り紙」とは、比較的簡単な構造(ユニット)を多数作り、これらを組み合わせて立体を作る折り紙です。デザインや配色等様々なバリエーションで楽しんでいきます。よく作るのは三〇枚組ですが、時には九〇枚組のものも作ります。

最後に紹介するのは、伊達市の伊達クラフトデザインセンターで作られている「ふくしま木の折り紙」です。地域のスギ材で作られたもので、一枚一枚木目が違う一点ものです。また、デザインだけではなく木の香りも楽しめる贅沢な折り紙です。

このように、福島には地域ならではの紙がたくさんあります。おそらく私がまだ知らない紙がたくさんあるのでしよう。これからもご当地の紙を探し、折り紙を楽しみたいと思います。



「福島ご当地の紙」

相双農林事務所 林業課 安崎 沙耶香



表紙の写真



「田村スギの故郷」

第13回ふくしま森林・林業写真コンクールで優秀賞を受賞した佐藤源策さん(郡山市)の作品。
撮影場所：田村市滝根町

はなしのひろば

猫と暮らす

平成十五年十二月のうすら寒い夜、外からか細い小猫の声があった。ドアを開けた途端「捨てられた猫です。失礼します」と言ったか、言わなかったか……。気がつけば炬燵の中で暖をとっていた。それ以来多いときには内に六匹、外の犬小屋に迷い込み犬と同居を始めた黒猫一匹がいた。クローは、外猫の誇りをもっていたのか、呼び入れても決して内に入ろうとはせず、日中はどこぞ遊びにいつていたから半分通い猫だったが、帰ると犬のチビに寄り添っていた。当然この関係はずっと続くとみていたが、しかし、そこは猫である。恋の季節がきたと思ったら、新しい出会いを求め、五年も寄り添ったチビのもとをあつけないで去っていったのであった。

今、内には三匹が同居しているが、内で生まれ猫の親に育てられたコトラは、きちんとしつけられている。食卓の上にものりこもない。この親子、いつも毛づくろいをして身綺麗にし、変わりばえのない餌を美味しそうに食べる。眠る時は無防備に手足をのばして寝るが、起きたらまず顔を洗い、思いつ切り伸びをする。この淡々とした生き方には学ぶことが多い。一方、目も開かない内に同居したカンナは、人に育てられたせいなのか、猫の自覚がない。うるさいほどいつも話しかけてくる、背中のはきはきはボサボサ、とにかく要求の多い猫だ。そしてなんでも食す。猫は、自己中心的だが、人に媚びることはなく、人が猫に媚びている。野良猫もふてぶてしいが堂々としていて卑屈でないところが気持ちいい。内の三匹は、同居人の私をどう思っているのだろう。聞きたくもなし、聞きたくもある。そんなことを思うにゃんにゃんの日(二月二三日)で(都)



| | |
|-----|--------------------|
| 編集 | 福島県内四森林管理署 |
| 発行 | 福島県森林・林業・緑化協会 |
| 発行人 | 福島県森林組合連合会 |
| | 福島県農林種苗農業協同組合 |
| | 福島県農林種苗農業協同組合 |
| | ふくしま緑の森づくり公社 |
| | 森林総合研究所福島水源林整備事務所 |
| | 福島県森林・林業・緑化協会 |
| | (福島市中町五番一八号県林業会館内) |
| 相馬 | 陽光社印刷株式会社 |
| 馬 | 雅俊 |
| | (定価 一〇八円) |

第69回 全国植樹祭 2018
育てよう 希望の森をいのちの森を

もり 森林とのきずなづくり
植樹リレーを実施中

第69回全国植樹祭に向け、県民参加の森林づくりを進めていくため、「もり 森林とのきずなづくり植樹リレー」をマツ、スギ、ブナ、ヒノキの4コースに分かれて県内各方部で実施しています。



スギコース(6月24日 ふるさと大好き 記念植樹式(泉崎村))



ブナコース(6月27日 第6回会津耶麻地方植樹祭(猪苗代町))



マツコース(7月21日 海岸防災林再生活動(南相馬市))



ヒノキコース(10月1日 平成28年度郡山市植樹祭(郡山市))

お問い合わせ先：公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局 (TEL 024-524-1480)

第69回全国植樹祭 検索

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



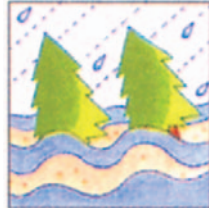
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



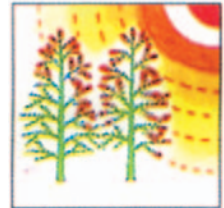
3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



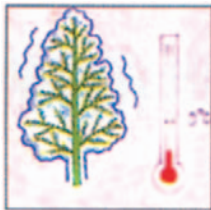
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追及したプロセッサ

- 高耐久性を追及したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒963-8052 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!

自然との調和

私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。

皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

**野生獣類から大切な
植栽木を守る**

ヤシマレント

ヤマビル対策に

マリックスター(駆除剤)

蜂さされ防止

ハチノックL(巣退治)
ハチノックS(携帯用)

タケを駆除する

クロレートS

**大切な日本の松を守る
住化グリーン**の林業薬剤

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

与作シート(茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリアバック使用)

竹・ササの防除に

クロレートS粒剤

**アメシロなどの
害虫防除殺虫剤**

打ち込み上手



住化グリーン株式会社

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

チッパシュレッダ



最大処理径
200mm

竹もOK!

SR3100

出力 18.4kW (質量1,330kg)

水冷ディーゼル

967634301

¥3,580,000(税抜)

ハンマナイフモア



ZHM1550

出力 27.5kW (質量1600kg)

967081901

¥5,860,000(税抜)



ZHM800

出力 7.4kW (質量230kg)

967088901

¥748,000(税抜)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1